

令和3年度 鳴門市学校評価書

鳴門市第二中学校

I 経営の重点に関すること

学校教育目標 A:大変よい, Bまあまあよい, C少し課題を感じる, D:課題である

項目	内容	中間評価	年度末評価	コメント
重点目標(重点的に求める価値目標)	人権を尊び、生き生きとたくましく生きる力や自主性・創造性に富んだ人間性豊かな生徒の育成		B	
具体的な取組 (組織として価値観を揃えて取り組むこと)	知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成		B	
	基本的な生活習慣の確立を目指す		B	
	確かな学力の向上を図る		B	
評価指標 (具体的な求める子どもの姿・行動目標)	自己有用感を高め、互いに支え合う仲間作りに努める		B	
	未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成		B	
	命を守るために、自ら判断し、行動できる生徒の育成		A	防災学習や避難訓練などに真剣に取り組み、防災についての意識の向上と行動力を培うことができた。

スローガン	「ナルニ運動」の徹底 ○なかよく協力 ○ルールの尊重 ○にこやかに挨拶
-------	-------------------------------------

学校の自己評価・改善方針	学校評価における生徒・保護者アンケートの実施・検証
--------------	---------------------------

学校関係者評価	生徒・保護者アンケート結果に基づく検証を踏まえた学校関係者評価委員会の実施・検証と関係者への報告
---------	--

II 学校アセスメント

A:大変よい(90~100%), Bまあまあよい(89~80%), C少し課題を感じる(79~70%), D:課題である(69~0%)

大項目	中項目	学校の取り組み	中間評価	年度末評価	子ども調査	中間評価	年度末評価	保護者調査	年度末評価	A, Dについてはコメントを付す	
1 学習指導の充実	学習意欲の向上	魅力的な授業展開の工夫		B	1 先生はいつも分かりやすく教えてくれる		A	1 子どもは、学校の勉強に意欲的に取り組んでいる	B	学校評価アンケートにおいて、肯定的な回答が91.8%であった。	
	基礎基本の定着	学力テスト・ステップアップテスト		B	2 漢字や計算の力がついてきている		B	2 子どもの学力状況はよく分かっている	A		
		単元末テスト・中間テストなど		B	3 成績に満足している		B	3 学校は、学力向上に向けて熱心に取り組んでいる	B		
		思考・判断力の向上	学力テスト・ステップアップテスト		B						
	単元末テスト・中間テストなど			B							
	体力の向上	体力テストの結果など		B							
		体力づくりにつながる活動の実践		B	4 進んで運動し、体力づくりをしている		B	4 学校は、子どもの体力づくりに取り組み、効果を上げている	B		
	学習規律の定着	学習の仕方のルール作り		A	5 授業中に人の話を集中して聞いている		B	5 学校は、子どもの学習規律の定着に熱心に取り組んでいる	B		学習態度や課題の提出などについて、継続した指導を行った。
		授業観察		B	6 宿題をきちんとしている		B	6 子どもは家庭学習(宿題)を、きちんとしている	B		
	課題解決的な学びの充実	「めあて」や「まとめ」を表示した授業実践		B							
	協働的な学びの充実	グループ学習の実践		B	7 グループで調べたり、課題を解決する学習が好きである		B				
	習熟に応じた指導の充実	習熟度学習の実践		B							
	ICT等を活用した指導の充実	ICT活用の授業の実践		B	8 電子教科書などを使った授業は好きである		A				興味・関心をもって、タブレットを活用した調べ学習や学習の共有などに取り組んでいた。
	特色ある指導			B							

	大項目	中項目	学校の取り組み	中間 評価	年度末 評価	子ども調査	中間 評価	年度末 評価	保護者調査	年度末 評価	A, Dについてはコメントを付す
45	学校経営 の改善	校務分掌の組織化	校務の見直しや組織の改廃		B						
46		教員の参画意識を高める	学校経営・運営ビジョンの共通理解		B						
47		学校事務の効率化, 効果的な会議	情報の分類・整理の推進		B						
48			その他自校独自の取組()								
49	教員研修 の充実	共通テーマにそった研修	校内研修の充実		B						
50		研修会等への参加と報告	受講研修内容の伝達の推進		B						
51			その他自校独自の取組()								
52											
53											
54											
55											
56											
57			その他自校独自の取組()								

学校の自己評価 改善方策	<p>本校の教育目標「校訓の『誠』の精神を踏まえ、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成をめざし、教師と生徒、生徒同士が関わりながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組んでいる。本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、体験活動やグループ学習などに制限はあったが、各教科とも学習形態や内容を工夫し、実践してきた。また、人権教育を学校教育の中核に据え、心の教育や人との関わり・コミュニケーションの仕方などを大切にし、指導している。</p> <p>本年度は、一人1台端末の環境を整えることができた。来年度は、各教科において、さらに効果的な活用方法を工夫していく。</p>
-----------------	--

学校関係者評価	<p>新型コロナウイルス感染症による臨時休校や行事や諸活動の中止や延期、内容の変更で、生徒の学習意欲や学力の低下などが心配される。体験学習や修学旅行、部活動等の諸活動が中止や縮小となったことでコミュニケーション不足や不安感・閉塞感から不登校の増加やいじめなどの心配、心身への悪影響が懸念される。生徒の学力保障・進路保障や心身のケアなどに一層努めてほしい。また、地域の担い手となる生徒の育成にむけて協体制を構築し、コミュニティスクールを推進していく。</p>
---------	--